

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	上野 雄史 (静岡県立大学)
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>会計研究を行っている研究者として日本リスク学会に貢献をしていきます。会計はリスクマネジメントの分野では深いかかわりがある一方で、日本リスク学会の中で触れられることはそれほど多くありません。歴史的にも会計は経済発展のあらゆる場面でかかわりがあります。</p> <p>会計は貨幣測定、情報開示という点で、利害関係者間を繋ぐハブ機能を持っています。私もその学問分野の特性と同じく、学会においてハブ的な機能を果たしていきます。</p> <p>現在、所属大学とは別に、(国立研究開発法人) 理化学研究所・革新知能統合研究センター目的指向基盤技術研究グループ 経済経営情報融合分析チームの客員研究員として、「A I が公認会計士業務に与える影響」についての調査を行っています。A I がもたらすリスクに関する調査も行い、こうした成果についても学会に還元すべく活動していきたいと思えます。</p>
② 本学会における 活動歴	・リスク教育部会・リスクコミュニケーション部会 (第1期～第2期) ・第30回日本リスク研究学会大会実行委員 (2017 年度) ・第30回日本リスク研究学会・大会優秀発表賞 (2017 年度) ・リスク学会会員向けのウェブ勉強会「大阪万博に関連するリスクの把握・評価・管理に向けて」(2020 年 3 月 28 日の共催)
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	博士 (商学、2007 年、関西学院大学)。年金、保険、リスク、倫理の視点から会計研究を行う。本学会で学会賞の他に、2011 年、日本年金学会創立 30 周年記念 賞佳作、2012 年、生命保険文化センター優秀論文賞を授与。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	上野 雄史
② 推薦者の 姓名と所属	前田 恭伸 静岡大学大学院工学領域事業開発マネジメント系列
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>上野雄史先生は、会計学をベースに活発にリスク研究をされています。本学会では 2014 年からリスク教育・リスクコミュニケーションタスクグループで精力的に活動されています。また他学会でも活発に活動されていて、2011 年には日本年金学会から日本年金学会創立 30 周年記念賞佳作を授与され、2012 年には生命保険文化センターから、生命保険文化センター優秀論文賞を授与されました。最近では理化学研究所・革新知能統合研究センターの客員研究員として「A I が公認会計士業務に与える影響」という新しい研究にも取り組まれています。特に財務会計の分野で多くの業績を挙げておられますが、この分野は本学会の中では弱い部分です。こういった立場から学会の運営にご発言いただければ重要な貢献になるのではないかと思います。このような理由から上野雄史先生を理事として推薦いたします。</p>

